4　おわりに

学校評価については、過去に何度かのブームが起こりましたが、それらの内容は、教職員による評価の改善が主なものでした。現在取組が進められている学校評価では、教職員以外の人々による評価も取り入れようとしている点が、過去の学校評価と大きく異なっています。これと並行して学校評議員制度も導入されており、現在では、「地域が参画する新しいタイプの公立学校」の運営についての実践研究も始まっています。このような、様々な制度の導入や改革は、学校、家庭、地域、社会が連携して学校教育の充実を図るために行われています。学校は、保護者など教職員以外の人々の協力を得ながら、児童生徒にとってよりよい教育活動を提供していかねばなりません。

学校評価は、各学校が持っている歴史、人材、施設、地域性、環境といった条件の中から、「強み」といえる条件を生かして、主体的に教育活動や学校運営を改善していこうとするしくみであり、学校評価システムを確立し組織的に改善に取り組んでいくことが、これからの学校経営には欠かせません。

学校評価に取り組むことが「評価のための評価」とならないようにするためには、「評価が改善につながった」という手応えを得ることが大切です。それには、重点目標を具体化して、できるところから始め、確実に成果を重ねていくという取組に、全教職員が参画意識をもって当たっていくことが肝心です。

また、評価結果の公表は、保護者や地域の人々の理解と協力を得るためには不可欠です。公表にあたっては、評価項目を設定する段階で、評価の判断基準や改善に取り組む手順を明確にしておくことが大切です。

学校評価システムの確立に向けての取組はまだ緒に就いたばかりですが、本資料に紹介した事例のように、教育活動や学校運営の改善に向けたすぐれた実践が増えています。今回の聴き取り調査を通して、各学校がそれぞれ育てるべき生徒像を明確にして、学校評価を生かして特色ある学校づくりに取り組んでいる熱意を感じとることができました。

終わりに、聴き取り調査にご協力いただいた各校には深く感謝申し上げます。紙面の都合上、聴き取り事項を全ては紹介できませんでしたが、ご了解くださいますようお願いいたします。

学 校 評 価 に 関 す る 参 考 資 料

― 学校評価システムの確立に向けて ―

【 県立学校 】

平成16年11月

発行　　栃木県総合教育センター
編集　　栃木県総合教育センター研究調査部
〒320-0002　宇都宮市瓦谷町1070
TEL　028(665)7204
FAX　028(665)7303
E－mail：cur-c@tochigi-c.ed.jp